

平成29年度施策評価シート(平成28年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	1 健康づくり・医療体制の充実	シート作成日	平成30年2月7日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	<p>市民一人ひとりが健康寿命[※]を伸ばし、生涯にわたって健康で安心して暮らせるよう、健康増進計画及び特定健康診査等実施計画に基づき、体系的な保健サービスを推進するとともに、市内外の医療機関との連携のもと、地域医療体制の充実を進めます。</p> <p>※認知症や寝たきりにならない状態で自立して生活できる期間</p>	得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康意識の高揚を図ることができた。 ・がんの早期発見を行ない、早期治療に結びつけた。 ・毎年受診することにより、検診の習慣化を促し受診者数の向上につなげた。
-------	--	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
がん検診受診率(胃・肺・大腸がん)	%	19.96 (H28年)	22.0	A(75~99%)
がん検診受診率(子宮・乳がん)	%	17.65 (H28年)	23.0	A(75~99%)
健康状態が「とても健康」、「まあまあ健康」という市民の割合	%	73.7 (H28年)	80.0	A(75~100%)
健康診査受診率(4か月・1歳6か月・3歳児)	%	98.36 (H28年)	97.0	A(75~99%)
ゲートキーパー養成研修済者数	人	427 (H28年)	400	A(75~99%)
各種検診など保健サービスの充実に関する市民の満足度	%	43.9 (H29年)	50.0	A(75~99%)

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
地域ぐるみの健康づくり活動の促進	健康づくりフェスティバル事業	健康づくりフェスティバル事業	×	4	11,702	1.198	3	4	3	3	拡大・充実
健康診査・指導等の充実	がん検診等事業	がん検診等事業	○	1	61,312	2.252	3	4	2	4	拡大・充実
母子保健の充実	予防接種事業	予防接種事業	○	1	114,542	0.313	4	4	2	4	拡大・充実
母子保健の充実	母子保健事業	母子保健事業	○	1	79,451	5.251	4	4	2	4	拡大・充実

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として、がんでの死亡率は高く、早期発見が大切である旨の啓発を積極的に実施し、がん検診の受診率の向上に努める必要がある。 ・市民の多様化するニーズに応えるため、きめ細かな一貫した保健サービスが必要であり、次世代の子どもの成長に資するために、他の部署とのより一層の連携を図りながら、引き続き様々な施策を講ずる必要がある。

平成29年度施策評価シート(平成28年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	2 地域福祉の充実	シート作成日	平成30年2月7日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	<p>すべての市民が住み慣れた地域で支え合いながら安心して暮らせるよう、多様な主体の参画・協働による地域福祉体制の整備をすすめるとともに、ユニバーサル・デザイン※のまちづくりを進めます。</p> <p>※はじめからすべての人が使いやすいように施設や建物、空間などをデザインすること</p>	得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ささえあいセンター事業は、介護保険では賅えない支援を実施しており、援助活動依頼件数も年々増加し、大変喜ばれている。 ・住み慣れた地域で支え合い安心して暮らすために欠くことのできない事業となった。
-------	--	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
福祉ボランティア団体登録数	人	12 (H28年)	14	B(50~74%)
福祉ボランティア登録者数	人	215 (H28年)	250	C(25~49%)
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
福祉サービス・担い手の充実	地域生活支援センター事業	地域生活支援センター事業	×	9	16,269	3	4	4	4	3	拡大・充実

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会に対応したものであり、今後の地域で支える介護を考えた場合、ますます充実する必要がある。 ・各種団体や、一般市民にPRをして協力会員を増やし、事業の拡大を図る。

平成29年度施策評価シート(平成28年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	3 子育て支援の充実	シート作成日	平成30年2月9日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	子どもが心身ともに健やかに育ち、子どもを産み育てる者が真に喜びを感じることでできる社会の実現に向け、子ども・子育て支援事業計画の策定のもと、多面的な子育て支援施策を総合的に推進します。	得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童の状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図っている。 ◆待機児童数ゼロ施策を継続している。 ◆子育てに喜びを感じ、安定して子供を産み育てることができる。 ◆子ども達が心身ともに健やかに成長することができる。
-------	--	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
一時保育を実施している保育所数	箇所	1 (H29年)	3	C(25~49%)
非木造保育所数	箇所	9 (H29年)	9	S(100%)
ファミリーサポートセンター会員数	人	428 (H29年)	400	S(100%)
児童館数	箇所	6 (H29年)	7	A(75~99%)
保育・子育てサービスの充実に関する市民の満足度	%	27.5 (H29年)	30.0	A(75~99%)
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
地域における子育て支援の充実	児童クラブ運営事業	児童クラブ運営事業	○	9	74,146	36.25	3	4	3	3	方法改善
地域における子育て支援の充実	子育て支援センター運営事業	子育て支援センター運営事業	×	4	35,220	10.15	3	4	1	3	方法改善
子育て支援する生活環境の整備	子どもの遊び場管理事業	子どもの遊び場管理事業	×	6	8,404	0.2	3	4	3	2	現状維持
子育て支援する生活環境の整備	児童館運営事業	児童館運営事業	○	6	47,418	18.2	3	4	3	3	方法改善
子育て支援する生活環境の整備	保育所運営事業	保育所運営事業	○	1	1,252,407	244.19	3	4	3	1	方法改善

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<p>◆保育所 2018年度から保育料を改定した。 2018年度から「食の安心・安全」への取り組みを強化した。 保育無償化に対応し、待機児童が発生しないように職員の確保が課題である。</p> <p>厳しい財政状況の中、公立保育所として安定した保育の提供ができるように効率的な施設運営が課題である。</p> <p>◆一時保育 2018年度から対象年齢を6カ月からに拡大した。</p> <p>◆児童クラブ 2018年度から定員の拡大をした。 待機児童が発生しないようにクラブ室と職員の確保が課題である。 障害児の受け入れ体制の整備が課題である。 利用する児童数が増えていることから小学校から離れた場所にあるクラブは空き教室を利用し、狭隘化対策と安全の確保を図ることが課題である。</p>

平成29年度施策評価シート(平成28年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	4 高齢者支援の充実	シート作成日	平成30年2月7日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	<p>全ての高齢者が尊重され、生涯にわたって健康で安心して暮らせるよう、介護保険事業計画・高齢者福祉計画に基づき、地域包括ケア※の実現に向けた各種施策を総合的に推進します。</p> <p>※介護・予防・医療・生活支援・住まい等のサービスを一体化して提供する包括的な支援</p>	得られた成果	<p>◆高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で健康を維持しながら、自分らしく尊厳をもって安心して暮らし続けられるようにするために、高齢者とその家族の生活、生きがい活動を支援するサービスの提供を図った。</p> <p>◆介護サービスの基盤整備を進め、家族の介護負担を軽減するとともに、介護サービスの質の向上を図った。</p>
-------	--	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値 (時点)	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		要介護認定者数		
福寿会会員数	人	4,213 (H29年)	5,000	A(75~99%)
シルバー人材センター会員数	人	223 (H29年)	290	A(75~99%)
高齢者福祉施策の充実に関する市民の満足度	%	19.8 (H29年)	25.0	A(75~99%)
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
地域支援事業の推進	介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業	○	2	37,785	0.9	4	4	3	4	拡大・充実
地域支援事業の推進	介護予防包括的支援事業	介護予防包括的支援事業	○	1	31,559	0.081	4	4	3	4	拡大・充実
地域支援事業の推進	長寿記念事業	長寿記念事業	×	5	369	0.032	4	3	3	3	方法改善
地域支援事業の推進	敬老事業	敬老事業	○	5	9,820	0.215	3	3	4	2	方法改善
地域支援事業の推進	単位老人クラブ育成事業	単位老人クラブ育成事業	○	9	6,090	0.032	4	4	2	3	方法改善
地域支援事業の推進	老人クラブ連合会育成事業	老人クラブ連合会育成事業	○	9	1,241	0.032	4	3	3	3	現状維持
地域支援事業の推進	シルバー人材センター育成事業	シルバー人材センター育成事業	○	9	20,356	0.022	4	4	3	4	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	居宅介護支援事業運営	居宅介護支援事業運営	×	2	18,270	3.387	3	4	2	3	方法改善
高齢者福祉サービス等の提供	給食サービス事業	給食サービス事業	○	5	17,326	0.2	3	4	3	3	方法改善
高齢者福祉サービス等の提供	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	○	5	337	0.024	4	4	3	4	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	緊急通報システム事業	緊急通報システム事業	×	5	3,398	0.03	4	4	3	4	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	○	5	5,468	0.079	4	4	3	4	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	総合福祉センター維持管理事業	総合福祉センター維持管理事業	×	2	79,569	3.45	3	4	2	3	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	十四山総合福祉センター管理運営事業	十四山総合福祉センター管理運営事業	×	2	32,674	3.704	4	4	3	3	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	いこいの里管理運営事業	いこいの里管理運営事業	×	2	24,823	2.593	3	4	2	3	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<p>◆介護保険給付は今後も増加が続く見込みのため、給付適正化及び介護予防などへの継続した取り組みが必要である。また、2017年から移行した介護予防・日常生活支援総合事業においては、多様なサービスの整備及びサービスの担い手の拡大などを図る必要がある。</p> <p>◆施設の維持管理 ・福祉センターは建設から20年、いこいの里は16年が経過し、今後さらなる維持修繕費が見込まれており、その対応について検討することが必要となっている。 ・効率的な・効果的な管理運営体制を検討し、管理運営コストを削減することが必要となっている。</p>

平成29年度施策評価シート(平成28年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	5 障がい者支援の充実	シート作成日	平成30年2月9日

1 施策項目別の評価結果

達成度	②:まあまあ達成できている(60%以上)
-----	----------------------

2 施策概要

目的と方針	障がいのある人が地域社会の一員として自立し、自分らしく生きることができるよう、障がい者計画・障がい福祉計画に基づく各種施策を総合的に推進します。	得られた成果	<p>社会福祉協議会やサービス提供事業所等と連携して、障がいのある方及びその家族に障がい福祉に関わるサービスを案内し、必要とするサービスを利用していただくことによって、経済的負担・介護負担を軽減し、生活の質を維持・向上させることを支援した。</p> <p>また、困りごとを相談しやすい体制を整えることで、障がい福祉サービス等を利用して不自由なく地域生活を送ることができるよう支援を図った。</p>
-------	--	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
障害福祉サービス利用者数	人	183 (H28年)	260	B(50~74%)
児童福祉法による給付サービス利用者数	人	68 (H28年)	70	A(75~99%)
地域生活支援事業利用者数	人	115 (H28年)	180	B(50~74%)
雇用就労支援件数	件	3 (H27年)	2	S(100%)
グループホーム・ケアホーム数	箇所	2 (H29年)	4	B(50~74%)
障がい者福祉施策の充実に関する市民の満足度	%	14.6 (H29年)	22.0	B(50~74%)

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
生活支援の充実	社会福祉事務	社会福祉協議会支援事務	○	6	38,221	0.177	4	4	3	3	現状維持
生活支援の充実	障がい福祉事務	心身障がい者扶助料支給事務	○	1	53,698	0.411	3	4	3	2	現状維持
生活支援の充実	障がい福祉事務	精神障がい者給付支給事務	○	1	10,118	0.293	3	4	2	2	現状維持
生活支援の充実	障がい福祉事務	心身障がい者福祉タクシー助成事業	○	1	7,519	0.3	3	4	3	3	現状維持
自立支援給付と地域生活支援事業の推進	障がい福祉事務	地域生活支援事業	○	1	42,193	0.645	4	4	3	3	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>障害者自立支援に係る給付費等の増加などにより、扶助費等は年々増加しているため、市の単独補助や市の単独事業、市の裁量の余地のある事業については、各事業のあり方を検討していく一方、見直しに伴う効果や市民サービスへの影響を検証し、適切なサービス水準を確保する必要がある。</p>

平成29年度施策評価シート(平成28年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	村瀬美樹
	施策項目	6 社会保障の充実	シート作成日	30.2.9

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	市民が健康で文化的な生活を営み、老後に不安のない人生を送ることができるよう、国民健康保険や国民年金、生活保護など社会保障制度の周知と適正な運用に努めます。	得られた成果	<p>国民健康保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国民皆保険」の要となっている地域の医療保険として安定的に運営することができた。 <p>国民年金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の制度を正しく理解してもらうとともに、国の業務を適切に行うことができた。 <p>就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援員を配置して、就労可能な生活保護受給者をハローワーク等の求人に結び付け、就労活動を支援することができた。
-------	---	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
年金相談の回数	回	2	2	S(100%)
		(H28年)		
就労支援世帯数	世帯	26	45	B(50~74%)
		(H28年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
(該当事業なし)											

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>国民健康保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から県広域化についての制度周知の取組を行っていく。 ・国保税収納率の向上への取組を行っていく。 ・特定健康診査、特定保健指導、ジェネリック医薬品、レセプト点検等の推進による医療費適正化への取組を行っていく。 ・移植医療の理解を深めるための取組を行っていく。 <p>年金相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の法定受託事務であり、今後も継続して事業を実施する。 ・窓口へ来庁された方や、電話にて相談があった方に「年金相談」または「ねんきん相談」を案内し、相談日の分かり易い資料の作成をする必要がある。 <p>生活保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者は、多様で複合的な問題を抱えている場合が多く、単に経済的な自立だけでなく、日常生活の自立や社会生活の自立も含めた包括的な支援の対応が求められ、「待ちの姿勢」ではなく、問題がより深刻化する前に、早期に支援対象者を発見できる取り組みが必要である。